

別府湾岸・国東半島サイクル海道



- 別府湾岸・国東半島におけるサイクリングを推進し、国内外から大分県へのサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光活性化を目的として、日本風景街道「おおいた海への道(旧称:別府湾岸・国東半島海への道)推進協議会」が設定したルート。
- ルートは大分・別府・日出・杵築・国東・豊後高田の5市1町で構成される。

凡例
別府湾岸・国東半島サイクル海道
佐賀関付近(大分市)～昭和の町付近(豊後高田市)
約160km



快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

- 自転車走行空間の整備の検討(大分県自転車活用推進計画等)
 - ・自転車走行空間整備を検討
 - 矢羽根(青色)の設置と自転車ピクトグラムの設置検討
- ルート案内サインの整備の検討
 - ・路面表示及び自立型サインの整備を検討
 - 路面表示: 走行中のサイクリストを誘導
 - 自立型サイン: 目的地までの案内や誘導、方向を伝える

サービスの充実と情報発信

- サイクルハブとサイクリストウェルカムの店舗等の募集・情報提供
- レンタサイクルやシェアサイクルの募集・情報提供
- ロゲイニング(設定ポイントを自転車で回り得点を集めるイベント)の開催
- 「西瀬戸5県(大分、愛媛、広島、山口、福岡)連携会議」の開催
- 情報発信(ホームページ、SNS、サイクリングマップ等)



サイクルハブ



イベントの様子



サイクルマップ

